

設置環境に合ったフィールドフェンスを設置するためには、設計前の計画が大切です。ここでは設置に至るまで、どのような工程を経るかを簡単に説明いたします。

① 設置ルートを確認する



・弊社デモファーム（実験農場）での設置・測量イメージ
●は折れ点 ゲートは出入り口部

確認ポイント

- 距離
- 支柱箇所
- 支柱間隔
- 対象動物

※対象動物別の仕様についてはP5～8をご確認ください。

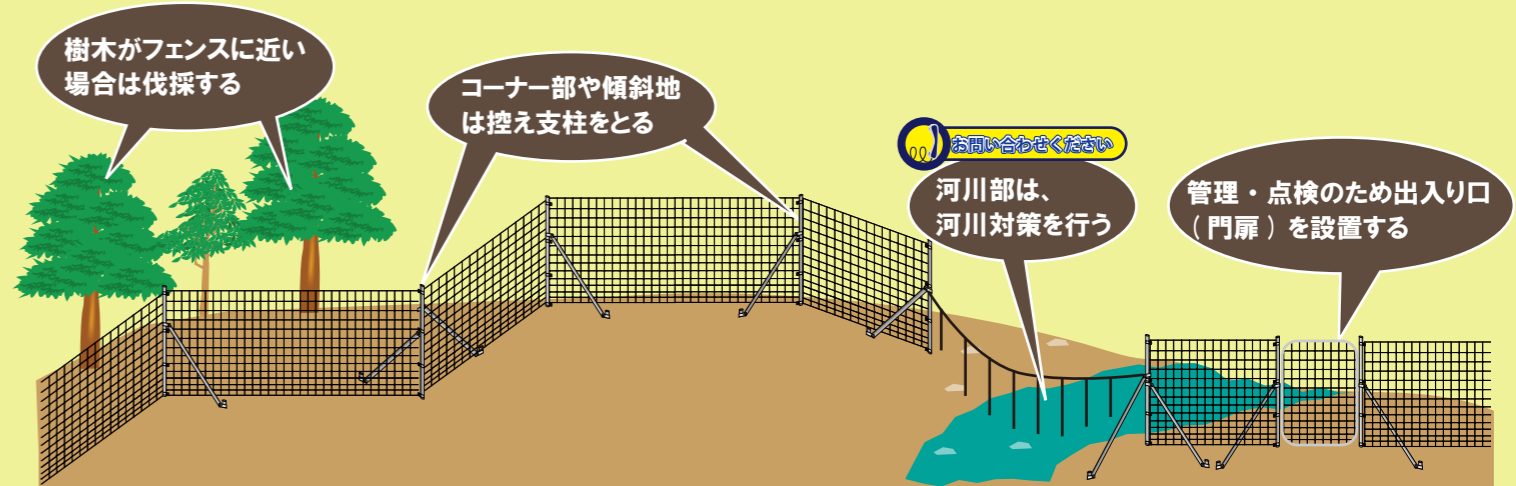
設置ルートの状況を確認し、ルートを選定します。砂利やコンクリートなど地盤が固い土地は、支柱を打ち込むことが困難です。電柱や立ち木などが近くにある場合や起伏が激しい土地は伐採や整地などの整備を行う必要があります。

お問い合わせください

設置ルートについては、専門知識を持ったスタッフがアドバイスを行うサービスも行ってまいります。詳しくはお問い合わせ下さい。



・ルート確認ポイント イメージ



お問い合わせください

② 必要資材を選定する



・カーブ部が多い場所での設置事例

お問い合わせください

資材選定については、御見積をとらせていただくことも可能です。お気軽にお問い合わせください。



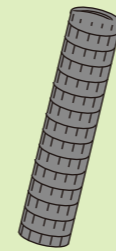
確認ポイント

- フィールドフェンス
- 支柱（鉄柱または木柱）
- フェンス固定金具
- フェンス連結金具
- 施工道具
- 出入り口（門扉）※門扉に関しては裏表紙をご確認ください

柵の仕様を決定し、資材数量を算出します。仕様は対象動物、設置環境に合わせて大きく異なります。それらを確認した上で、資材数量を算出していきます。(対象動物の詳細な仕様はP5～8をご参照ください)。例えば、カーブしている場所や傾斜がある場所は、できるだけ多くコーナー支柱(控え支柱)を入れるほうが望ましいです。

・選定資材紹介

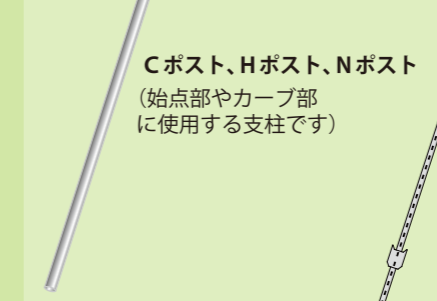
● フィールドフェンス



対象動物に応じて選択します (詳細はP5～8)をご参照ください。

● 支柱（鉄柱）

※木柱、木柱用U字釘（ステイプル）などの資材も取扱っています。詳しくは別途お問い合わせください。



ポストブラケット (C、H、Nポストを接続する際に使用します)

● フェンス固定金具



ワイヤーブラケット (Cポストとフェンスを固定します)



バッグタイ (バッグタイスティックを使ってフェンスを固定します)

● フェンス連結金具



平行連結金具 (小) 又は (極小) (フェンス同士を連結しストレーナーを使って緊張します)



Tフック連結金具 (始点部にフェンスを固定します)

● 専用施工道具



ランマー（鉄柱用） (支柱を打ち込みます)



平行連結ストレーナー (平行連結金具を緊張します)



バッグタイスティック (バッグタイを簡単に支柱に取り付けることができます)

③ 施工方法を確認する



確認ポイント

- 自力施工
- 業者施工

施工方法は大きく分けて、自力施工と業者施工の2種類があります。FAR夢ブランドの専用施工道具を使うことで支柱の打ち込みからフェンスの固定まで、全て自力で行うことができます(詳細はP13、14をご参照下さい)。施工方法を検討する際に、重機の使用有無、運搬車の使用についても確認が必要です。

お問い合わせください

必要に応じて、現地での施工指導なども承ることが出来ます。詳しくはお問い合わせ下さい。



をご覧ください。読み取りにくい場合は http://www.youtube.com/watch?v=Aqig_jHz1hI&list=UU6TBOJfGaMgNvQRQHTJMezA